

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	三ツ池公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園・協栄グループ
指定期間	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

今期の利用者は、3月の桜の開花時期が昨年比べて早まったことにより、昨年度の同時期と比較して大幅増となった。収入支出については、収入に対して支出が約22%増となっているが、これは主に3月の来園者数の増に伴う光熱水費の増などによるものであり、やむを得ない結果である。維持管理については概ね良好な管理が行われていると思われる。また、苦情・要望等に対する対応状況についても、概ね適切に行われていることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	11月30日	○	○	○	無	
11月	12月10日	1月9日	○	○	○	無	
12月	1月10日	2月7日	○	○	○	無	
1月	2月8日	3月8日	○	○	○	無	
2月	3月8日	3月27日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月30日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<ul style="list-style-type: none"> ○県民と育む水と緑に彩られた桜の森づくり ・計画的な [サクラ更新] を実践 ・生物多様性確保の取り組みを実践 ・三ツ池の水質を改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内のサクラを接ぎ木して旧分区園で育てたものを大砂場西側斜面に25本補植した。 ・上の池の岸部に、カイツブリの孵化を助け、保護するための区域を設け、表示と囲いを設けた。また、プールの中から産卵後のカエルが戻るための棧橋を設けた。 ・生命の星・地球博物館の学芸員による、講演会を開催した。 ・ボランティア団体と共催で中の池の掻い掘りを実施し、外来魚防除と池の富栄養化の低減を図った。

	提案内容	実施状況
2	<p>○利用者や地域住民等に配慮した管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園連絡協議会による地域住民との情報共有 ・平等・公平な公園利用促進を实践 ・ユニバーサルサービスの提供を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期に続き「三ツ池公園との楽しいおつきあい企画会議」を（下期2回）開催した。公園の整備計画についても、計画を県から受託した設計事務所を招き、地域の皆さんの要望が伝わる場を提供した。 ・広場でのテント設置、園路でのボール遊び、自転車の高速運転、硬いボールでのキャッチボール等の行為等、他人に迷惑をかける恐れのある行為については、声かけによる注意喚起を行い、誰もが安心して公園を利用できるよう努めた。 ・日常点検をしている管理員の情報及び来園者アンケートからの提案を基に管理運営等の改善を行った。
3	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な「地域交流」の拠点作り ・魅力的な野外活動拠点作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域ふれあいまつり」を実行委員会と共催で実施し地域交流の場を提供した。祭りの場に、公園のブースを設け、防災用品の展示を行い、地域住民の防災意識の高揚を図った。 ・下半期も、公園内において、里山クラブ、花壇倶楽部、つるみプレイパーク、水辺クラブ、縄文人になろう会、環境探偵団他のボランティア団体と共催でイベントを実施。サクラの時期には、花の広場・遊びの森・パークセンター前に移動販売車を配置し、にぎわいのある場所の提供に努めた。
4	<p>○防災・防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心、快適な公園作り ・地域と連携した防犯対策 ・防災訓練の実施 ・巡回等による迷惑の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園職員のほうから来園者に、積極的に声をかけるよう指導し、信頼関係が生まれるように努めた。 ・鶴見警察署および地元中学校を訪問し、防犯等に対する協力体制と連絡体制の再確認を行った。 ・防災訓練を実施し、災害発生時の連絡網と体制の再確認を行った。 ・職員巡回により、動植物の採取、硬いボールでの野球、自転車の高速運転、テント設営、高速ランニング等の、他の来園者に対する迷惑行為防止に努めた。
5	<p>○環境に配慮した管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5Rの環境配慮実践 ・地球温暖化防止・環境負荷低減の取り組みを推進 ・かながわトラストの取り組み ・グリーン購入・エコキャップ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別収集処理、落ち葉・除草の堆肥化、園内剪定材のクラフトへの利用、カントリーヘッジへの使用等、実践した。また、公園職員が使用している車は必要以外にはエンジンを停止すると共に、節電・節水に努め、環境負荷低減を実施した。H25年1月、ISO14001を取得し環境問題に取り組み中。 ・駐車場料金と合わせて寄付金を収受し、緑化協力金として指定口座に振り込んだ。 ・下半期もグリーン購入を推進した。また、エコキャップの回収に努め、協会に持参した。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		89,650	12,330	35,426	137,406	137,406	0
予算額	前年度	71,715	11,460	39,321	122,496	122,496	0
	上半期	40,125	7,889	23,966	71,980	64,112	7,868
	下半期	31,590	3,571	15,355	50,516	58,384	▲ 7,868
	今年度	71,715	12,700	36,061	120,476	120,476	0
	上半期	40,125	8,984	23,798	72,907	65,108	7,799
	下半期	31,590	3,716	12,263	47,569	55,368	▲ 7,799
下半期実績額	10月	5,580	866	3,043	9,489	12,631	▲ 3,142
	11月	5,428	616	2,183	8,227	9,580	▲ 1,353
	12月	5,640	538	1,013	7,191	10,001	▲ 2,810
	1月	4,830	397	1,154	6,381	8,238	▲ 1,857
	2月	4,762	540	1,610	6,912	9,435	▲ 2,523
	3月	5,350	710	8,632	14,692	14,777	▲ 85
	今年度 下半期合計	31,590	3,667	17,635	52,892	64,662	▲ 11,770
	前年度 下半期合計	31,590	3,628	11,256	46,474	57,197	▲ 10,723
	対前年度下半期比			③	13.8%	13.1%	
参考	今年度 上半期合計	40,125	9,055	24,708	73,888	67,092	6,796
	今年度 合計	71,715	12,722	42,343	126,780	131,754	▲ 4,974

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	主に、来園者数の増に伴う光熱水費の増によるもの。また、職員の増に伴う人件費の増によるもの。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	903	公園内、落雷による警報盤・園路灯、放送施設修繕工（903千円）
下半期	1,837	野球場スプリンクラー交換（892千円）、グレーチング交換（945千円）
合計	2,740	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	64,558 人	68,495 人	▲ 5.7 %
11月	50,631 人	51,684 人	▲ 2.0 %
12月	43,946 人	41,876 人	4.9 %
1月	36,894 人	31,537 人	17.0 %
2月	36,356 人	33,301 人	9.2 %
3月	495,949 人	37,471 人	1,223.6 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	682,000 人	888,941 人	779,990 人	30.3 %	14.0 %
今年度下半期計	481,000 人	728,334 人	264,364 人	51.4 %	175.6 %
今年度合計	1,163,000 人	1,617,275 人	1,044,354 人	39.1 %	54.9 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	主に、3月の桜の開花時期が昨年に比べて早まったことにより、利用者が大幅増となった。
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	4 (1)	2 (1)	5 (3)	0 (0)	11 (5)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	4 (0)	9 (2)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	18 (2)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	早朝の散歩とラジオ体操をしている方から、朝の5時から6時までの照明の点灯を要望された。	園路灯の点灯時間をずらし、納得いただいた。節電への影響もなし。
職員対応		
事業内容	春の行事'琴と尺八のコンサート'を中止しないしてほしい。	平成25年度春も引き続き行うことを回答する。
その他	緊急財政対策による三ッ池公園の廃止・移譲に反対する。 早朝テニスでいつも同じグループが利用している。	都市公園は廃止しないこと、県立都市公園の見直しについては平成25年度5月頃に判断する旨を回答する。 窓口では利用者全員に「使用ルールの遵守」パンフレットを配布。同様の注意看板を設置。

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
10月1日	倒木があり、隣接するアパートの外周パイプ柵を壊した。	アパートの経営者に連絡を取り、専門業者を手配し、柵を補修。	園路際の樹木点検を優先していたため、外周の樹木の状態を事前に把握しきれていなかった。朝礼等では、園路際とあわせて外周隣接地の樹木点検も実施するよう周知した。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

利用者については、主に3月の桜の開花時期が昨年比べて早まったことにより、昨年度の同時期と比較して大幅増となった。

収入支出については、収入に対して支出が約22%増となっているが、これは主に3月の来園者数の増に伴う光熱水費の増、および職員の増に伴う人件費の増によるものであり、やむを得ない結果である。

維持管理については概ね良好な管理が行われていると思われる。その中でも樹木については桜の木をはじめとする老木が多くあり、度々倒木の被害が見受けられるため、桜以外にも引き続き危険木の調査を念入りに行い、今後さらに良好な樹木の安全管理等に努めてほしい。

イベント等の開催については、概ね事業計画どおりの実施状況である。

苦情・要望等に対する対応状況については特に大きな問題はないが、県への報告内容が不明瞭な点が多いため、簡潔かつ明瞭な報告を求めたい。また、夜間等の不測の事故を防止するため、十分な警備体制に努めてほしい。